



三小だより

No31

令和6年12月12日(木)

文責：古賀正洋

12月も中旬に入り、朝の気温が氷点下になることも増えてきましたね。今年も残りわずかとなりました。体調管理には十分気を付けて、気持ちよく年の瀬を迎えたいですね。

もちつき集会

6日(金)は、保護者の皆様や地域の方々にも参加していただき、もちつき集会を実施しました。5年生が、田植え・収穫・脱穀・精米の体験を通して作り上げた「もち米」を、昔ながらの臼と杵を使って、おもちにつきました。



子どもたちは、慣れない杵の扱いに苦労しながらも、大人の方に教えていただいたり、助けていただいたりしながら、おもちを完成させました。つきたてのおもちを試食すると、みんな笑顔になっていました。

保護者の皆様、地域の方々には、事前の準備や当日の運営で、たくさんのご協力をいただきました。お陰で、子どもたちの笑顔あふれる活動ができました。ありがとうございました。

今回は、前日までの準備や子どもたちの動き、天候や気温への対応などを考えて、初めての試みとして、体育館で実施しました。次年度に向けて、皆様のご感想などをお聞かせください。

学習支援員 椎屋美紗起(しいや みさき)先生

12月から、毎週3日(火・水・金)、子どもたちの学習が円滑に進められるように、子どもたちをサポートする「学習支援員」の椎屋美紗起先生が、三ヶ所小職員の仲間入りをしました。よろしくお願いします。



12月から学習支援員として授業のサポートに入るようになりました椎屋美紗起です。4月に日南から引越してきました。すでに五ヶ瀬の寒さが身に染みておりますが、スキーができる事がとても楽しみです。よろしくお願いします。

熊本学園大学で五ヶ瀬町をPR!

6年生は4日(水)、G授業の一環として、これまでの体験活動で学んだ五ヶ瀬町の良さを、熊本学園でPRしてきました。初めての場所・初対面の学生さんを相手に、緊張もあったようですが、ふるさと五ヶ瀬の良さを、しっかりPRできたようです。学生さんが実際に五ヶ瀬町を訪ねてきてくれると嬉しいですね。

